

がんばる地域の取組み紹介



在宅生活を支える医療と介護のチームワーク

	団体名	こねっと (Co-Net)
	団体情報	赤江地区の医療と介護の連携を考える会 <名前の由来> community (地域)・connection (繋がり) cooperation (協働)・communication (意思の疎通) の「Co」とネットワークの「Net」から

きっかけは

医療と介護の連携については、連携の難しさを感じている職員が多い状況であったが、赤江地区のみなさんに切れのないサービスを提供し、2025年問題（医療や介護現場で起きる変化）を見据えた対応を行うため、有志が中心となって連携のための会を立ち上げた。

活動状況

顔の見える関係づくりから次のステップ（様々な取組み）へ！

①顔の見える関係づくり



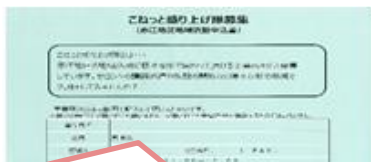
親睦第一！なんでも気兼ねなく話せます。

②医療・介護相互の勉強会

お互いの理解ってほんと大事です！



④地域との連携



地域の方にも意見を聞いてみよう！

③赤江地区の現状と課題の把握



そういうことで困っているんですね！

〔 今後は、地域と専門職の連携を図りながら、最終的には、国が目指している「在宅医療と介護の連携」を赤江地区で実現することが目標です！ 〕

インタビュー

ケアプランセンター家路 緞川易典さん

難しく考えず、顔の見える関係づくりから少しずつ地域連携を目指そうと『こねっと』の活動に参加しています。他の職種の仕事内容・役割も見えてきて、多職種連携や地域連携の必要性を実感しています。



そうごう薬局恒久店 橋本 敏明 さん



薬剤師が地域の皆様に貢献できることは、お薬を通しての服薬のお手伝いになると思いますが、調剤薬局だけでは活動が限定されます。こねっとを通じて多職種の方と連携をとりながら、お渡しした後のお薬のフォローが行えればと考えます。